

04

次なる災害への備え テーマ詳細説明

04-1.流通在庫備蓄の高度化 | 仙台市

仙台市が実施している流通在庫備蓄の仕組みについて、企業側の負担を軽減しつつ、対象品目や契約先の拡充をしていくためのアイデア・ソリューションを募集します。

<背景>

- 仙台市ではみやぎ生協と流通在庫備蓄契約を締結している。主に広い保管スペースを必要とし備蓄に向かない物資（生理用品、トイレットペーパー、おむつ等）について、仙台市が備蓄品として予め購入した商品を、平時にはみやぎ生協の一般商品の在庫として販売し、更新することで、①災害時の確実な物資確保、②保管スペースの削減、③廃棄・再購入費用の削減を実現している。
- しかし、品目によっては販売数量が減少したり、新商品への切り替え期間が短縮するなど、在庫の更新が困難となるケースがあり、企業側の負担が増加している。そのため、品目や契約先の事業者の拡充が困難な状況にある。

<課題/実現したいこと>

- 事業者側の負担を軽減しつつ、流通在庫備蓄の品目、契約先事業者を拡充できる仕組み。
- 今回は、広い保管スペースを必要とするほか、消毒等により再利用可能となる簡易ベッドをテーマとする。販売業者のみならず、レンタル・リース業者等の事業者と連携した台数確保の提案も可。また、複数の自治体と複数の事業者で融通する仕組みの提案も可。
- 本テーマは、技術的なソリューションのみでの解決は難しいため、仕組み・事業アイデアの検証を含めた提案で可。

04-1.流通在庫備蓄の高度化 | 仙台市

<補足情報>

- 仙台市 みやぎ生協との流通在庫備蓄の詳細
[仙台市定例会見（災害に備え新たな備蓄方式を導入します—流通在庫備蓄方式の導入—）](#)

04-2.震災アーカイブスを活用した震災伝承の推進 | 多賀城市

多賀城市の震災アーカイブスを活用し、防災教育・市民の防災意識向上を狙った震災伝承の推進に役立つアイデア・ソリューションを募集します。

<背景>

- 多賀城市では、東日本大震災により、大きな揺れによる被害だけでなく、「都市型津波」と呼ばれる特殊な津波に襲われるなど、甚大な被害を受けた。しかし、震災遺構を保存していないため、市民や市外から訪れた人が震災被害を知る機会が少ない。
- そのため、東日本大震災の記録を収集・整理し、後世に伝承することを目的として震災アーカイブサイト「[たがじょう見聞憶](#)」を構築し公開している。しかしながら、構築から時間が経つものの、サイトもスマートフォンでの閲覧に対応していないなどの理由から、本アーカイブサイトを防災教育や市民の防災意識向上のために十分に活用することができていない。
- 一方、2024年には、多賀城創建1300年を迎え、そのシンボルとして多賀城南門の復元工事を進めている。かつて多賀城南門があった場所は、869年に起きた貞観地震の際にも津波が到達していない場所であることから、その史実を市民や観光客に伝えたい。

<課題/実現したいこと>

- 「たがじょう見聞憶」を市民の防災意識向上や震災を知らない世代の子どもたちに対する防災教育に活かしたい。
- 市民だけでなく、多賀城市に観光で訪れた方にも震災記録を伝承したい。
- 本テーマは、技術的なソリューションのみでの解決は難しいため、仕組み・事業アイデアの検証を含めた提案で可。

04-2.震災アーカイブスを活用した震災伝承の推進 | 多賀城市

<補足情報>

- 実証実験実施の関係者（予定）
 - 市役所 観光担当部署、教育担当部署、等
 - 市内観光団体、関係教育機関、等
- 活用想定
 - 平時利用（小・中学校の防災教育、自主防災組織・地域住民の防災意識の向上など）

04-2.震災アーカイブスを活用した震災伝承の推進 | 多賀城市

<協力自治体のコメント>



白石市
Shiroishi City

震災記録の伝承、小中学生への防災教育、自主防災組織や地域住民の防災意識の向上という点でどのようなソリューションが活用できそうか関心がある。